



上峰町立上峰中学校だより

ちんぜい

No.1

発行日:令和8年4月13日

発行者(文責):校長 永田康子

学校教育目標:心豊かに たくましく生きる生徒の育成 -自ら考え、判断し、行動する中学校生活を通して-
生徒会スローガン:オリジナル~全員の個性が輝く学校へ~

新学期がスタートしました。校内には生徒たちの明るい声やあいさつが響き、気持ちのよい日々が始まっています。1年生は、慣れない環境で戸惑うことも少なくないと思いますが、前向きに頑張っています。2年生と3年生は、3月とは見違えるほど表情と行動に大人っぽさが増しました。春休みの期間中に、しっかり自分自身と向き合ったのだと思います。



さて、中学校生活において、友達との関わりはとても大切なものです。本校では、「自ら考え、判断し、行動する生徒の育成」を目指していますが、その土台となるのが、生徒同士の関わりです。友達と関わる中で、自分と違う考えに出会うことがあります。そのときに相手を否定するのではなく、「なぜそう考えるのだろう」と理解しようとする姿勢が、生徒たちの心を大きく成長させます。また、言葉の使い方もとても大切です。何気ない一言が人を傷つけることもあれば、励ましや支えになることもあります。相手を思いやる言葉が自然に交わされる学校でありたいと考えています。さらに、友達関係の中で大切にしたいのは、「自分で考えること」です。周りに流されるのではなく、自分としてどうするかを考え、行動する経験が、これからの社会を生きていく力につながります。

こうした関わり積み重ねが、友達と支え合いながら学びを深めていく「協働」へとつながっていきます。本校では、生徒同士が安心して関わり合い、学び合うことができる環境づくりを大切にしています。

ご家庭におかれましても、お子様の友達関係について話題にさせていただき、「どんな関わりをしているか」「どんなことを感じているか」に耳を傾けていただければ幸いです。今年度も、子どもたち一人一人の成長を、学校と家庭でともに支えていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

始業式 各学年代表の言葉

4月7日(火)の令和8年度1学期始業式では、2年生と3年生それぞれの代表が学年全体としての意気込みを述べました。大勢の前で話すのはとても緊張すると思いますが、代表の松隈さんも末廣さんも堂々としっかりと考えを伝えていました。以下にその内容を紹介いたします。

2年生代表 松隈 蓮和さん

去年は、2年生と3年生から温かく迎えていただき、中学校生活のマナーや楽しみ方を教わりました。今、2年生になった私たちは、学校の先輩たちを支える学年としての自覚をもち、何事にも全力で取り組むことを目標にします。勉強や学校生活の中で、困難なことや苦手なことにも逃げずに挑戦し、一人一人が大きく成長していき、仲間と支え合いながら互いに高め合い、1年生の手本となる行動を心がけます。そして、学校全体をよりよくしていくという強い気持ちを持ち、責任のある行動をとっていきます。私たち2年生全員で力を合わせ、最高の学年をつくっていきます。



3年生代表 末廣 海仁さん

これから3年生として、最上級生になるので、自分のことだけでなく、周りのことも考えて行動していきたいです。後輩のお手本になれるように普段の生活や行事にも一生懸命取り組みたいと思います。僕たち3年生の学年目標は「灯せ」です。この「灯せ」には、一人一人が自分の目標に向かい、その努力で周りも明るくしていこうという意味があると思います。最高学年として、行事や学校生活の中で中心となり、みんなを引っ張っていける学年にしたいです。また、お互いに支え合い、全員が成長できる一年にしたいと思います。学校への貢献として、挨拶や掃除など、当たり前のことをしっかり行い、学校全体の雰囲気をよくしたいです。行事や部活動にも全力で取り組み、学校を引っ張っていける3年生になりたいです。



新入生の保護者の皆さまへ

お子さまのご入学おめでとうございます。本校の制服に身を包み、少し緊張しながらも一步一步歩み始めた一年生の姿に、私たち教職員も温かな気持ちと期待を抱いています。

中学校生活のスタートにあたり、「うまくやっていけるだろうか」と不安を感じておられる方も多いのではないのでしょうか。そのお気持ちはとても自然なものです。子どもたち自身も、期待と戸惑いの中で新しい毎日を過ごしています。入学式の式辞でも述べましたが、中学校の三年間は、子どもたちが大きく成長する時期です。うまくいくことばかりではなく、失敗や悩みも増えていきます。しかし、その経験こそが力になります。私たちは学校を「安心して挑戦できる場所」にしたいと考えています。失敗を責めるのではなく、「ここからどうするか」を一緒に考えながら支えていきます。ご家庭でも、結果だけでなく過程に目を向け、「よく頑張っているね」「どんな一日だった？」と声をかけていただくと、子どもたちは安心して次の一步を踏み出すことができます。

また、友人関係の中での戸惑いも成長の一部です。人と関わる中で、相手を思いやる力や、自分の考えを大切にする力が育っていきます。学校でも一人一人の様子を丁寧に見取り、必要な支援を行ってまいります。

本校では、「自ら考え、判断し、行動する生徒」の育成を目指しています。学校と家庭が同じ方向で支えることが、子どもたちの安心と成長につながります。

本校での三年間が、お子さまにとって安心して過ごせる時間となるよう、教職員一同、心を込めて関わってまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



制服等の寄付へのお礼

このたび、卒業生の皆さんから、制服や体操服、通学バッグなどを学校へ寄付していただきました。新たな一步を踏み出した中で、後輩たちのことを思い、こうした形で心を寄せてくれたことに、深い感謝の気持ちでいっぱいです。寄せられた品々は、これから本校で学ぶ生徒たちにとって、大きな支えとなります。それは単なる「物」の支援にとどまらず、「誰かのために」という優しさや思いやりの心が受け継がれていくことに、大きな意味があります。まさに、本校が大切にしている「心豊かにたくましく生きる」姿の一つであると感じています。

卒業生の皆さんが示してくれたこの温かな行動は、在校生にとっても大きな学びとなり、これからの学校文化をさらに豊かにしてくれることでしょう。卒業生の皆さんのこれからのさらなるご活躍を心より願っています。そして、いつまでもこの上峰中学校での学びとつながりを大切に、それぞれの道を力強く歩んでいってください。改めて、心より御礼申し上げます。